

広島大学マスタース広島 第4回ミニ懇話会

「石瓦（スレート）を通してみた地殻変動」

日時：2025年2月15日(土) 15時15分～16時45分(15時開場)

場所：広島大学東千田キャンパス未来創生センター3階 M301 講義室

(東千田キャンパス正門を入れて左手奥の4階建ての3階です)

講師：於保 幸正 氏 (広島大学名誉教授、元総合科学部)

概要

岩石の中にスレートと呼ばれる低度の変成岩がある。これは小さな白雲母や緑泥石などの板状鉱物が一定方向に配列している岩石である。そのためにスレートは薄く剥げ易く、東北地方の北上山地では屋根瓦や石碑として一般的に使われている。明治以降西洋館が造られるようになり、東京駅や法務省の旧館などでは石瓦として使用されることが多くなった。石瓦以外にも、19世紀中頃には子供たちが勉強する石板や黒板としても使われていた。スレートはかつて地殻変動が起きた地域に分布している。例えば、ヨーロッパでは、古生代にカレドニア造山運動やバリスカン造山運動と呼ばれる地殻変動が起き、新生代にはアルプス造山運動が起きている。これらの地殻変動に伴いスレートがどのように形成されたのか、地質構造と併せて紹介する。地質屋と呼ばれる化石のような存在がどのようなものを観察しているのか、理解して頂く機会になれば有り難い。

【講師プロフィール】



◆専門分野：地質学（構造地質学）

◆研究テーマ：日本列島の形成史（中古生層の地質構造形成史）、地殻変動に伴う岩石組織の形成過程（変成岩）、付加体での岩石変形、中国地方にみられる地形の形成過程（侵食小起伏面）

◆略歴：1949年佐賀県生まれ。1981年東京大学大学院理学系研究科中退、同年広島大学総合科学部助手、以後講師・助教授を経て1994年教授。2015年3月定年退職。広島大学名誉教授。

◆楽しみ：山歩き、カワセミ・ヤマセミとの出会い

問い合わせ先

広島大学マスタース広島 総務担当幹事 橋 康和

E-mail: tsubaki3@mub.biglobe.ne.jp, Tel. 090-5261-8324

(広島大学マスタース広島の会員にかぎらず、どなたでも参加できます)